

作物名 **かぼちゃ** (ウリ科)

J A 2022 版

標準作型

△印・定植 □印・収穫

作 型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露 地				△ …… △								

早植えはトンネルが必要

栽培のポイント

摘芯を早期に行ない、2本～3本仕立てにする。受粉がポイント。

畑の準備と元肥 有機質に富む中性の土壌を好むので、苦土石灰（10kg/a）、堆肥（100kg/a）を2週間前までに施しておく。
定植前に元肥を施して土になじませておく。

播 種 箱まきなら、本葉1枚のときポリポットにあげる。
(種まき) 4月以降ならポリポットに1粒まきとする。
※ 播種量の目安：30～60ml/a 定植本数の目安：80本/a

定 植 本葉4～5枚で定植する。寒さに弱いのでホットキャップをすると生育がよい。
栽植距離は、株間45～60センチ、うね間310～360センチ。

整 枝 2～3本仕立てとし、つるは同一方向に向けると良い。

追 肥 元肥が施してあれば、追肥の必要はないが、畑がやせていたり、草勢の弱い品種を作る場合は、果実が“こぶし大”位に肥大したころに、1株あたり半握りくらいの化成肥料を株元から50センチくらい離してばらまいて施用する。

人工授粉 はじめは雄花が開花し、しだいに雌花が咲き出す。
雨が續いたり、温度が低かったりすると“受粉できずに花がおちてしまう”ので、その場合は人工授粉をする。
方法は、早朝 気温が高く上がらないうちに、開花して間もない雄花を摘んで花卉を取り除き、雌花のめしべの柱頭に花粉をなすりつける。

収 穫 完熟果を収穫するには、受粉後45～50日を目安に行う。
果実には、品質を保護するため、敷きわらを用いて果実を守る。
(カボチャマットの利用)

肥料施用量

(1 a 当たり使用量)

肥料名	ジアン有機化成S806号	BMようりん	NK化成2号	施肥時期
元 肥	12 kg	2 kg		定植前
追 肥			5 kg	1番果着果後